

貯法	室温保存	承認指令書番号	農林水産省指令 12 生畜第 1531 号
		販売開始	1988年7月

使用前に必ず本書を読み、内容を理解したうえで使用してください。
また、本書を必要ときに参照できるように大切に保管してください。

動物用医薬品

鉄欠乏性貧血治療予防剤

トンキー[®]200

TONKEY200

鉄は体内に酸素を運ぶヘモグロビンの重要な構成成分です。この鉄が不足することにより起きる鉄欠乏性貧血は、成長の早い動物に多くみられます。

子豚は特に成長が早く、1 kg 前後で生まれて約 1 カ月間で 10 kg ほどに成長しますので、出生後しばらくは成長速度に体内の造血作用が追いつきません。子豚の鉄要求量は、1 日に約 10 mg といわれており、母乳からの鉄補給のみでは間に合わないため、生後 3 日前後には鉄欠乏の状態に陥ります。

鉄欠乏性貧血になると、血色不良や発育の遅れ、病気に対する抵抗力の低下、下痢などをおこしやすくなります。発育の遅延は、出荷時まで影響を与えることも多く、重度の貧血の場合には死亡することもあります。

トンキー200 は、製品 1 mL 中に鉄を 200 mg 含んでおりますので、子豚に注射することにより鉄の不足を補うことができます。

【成分及び分量】

本剤 1 mL 中
デキストラン鉄液…………… 1 mL
(鉄として 200 mg 含有)

【効能又は効果】

牛：貧血
羊：貧血
豚：子豚の鉄欠乏性貧血
犬：貧血

【用法及び用量】

鉄として下記 1 日量を筋肉内注射する。

牛：1 頭当たり体重に応じて 400 ～ 1000 mg を連日ないし、隔日に投与する。

羊：1 頭当たり体重に応じて 100 ～ 200 mg を連日ないし、隔日に投与する。

豚：子豚に 1 頭当たり 100 ～ 200 mg を 1 回ないし、数日ごとに投与する。

犬：体重 1 kg 当たり 2 ～ 10 mg を投与する。

尚、症状及び畜種に応じて適宜増減する。

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は獣医師の指導の下で使用すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は筋肉内注射のみに使用すること。

(対象動物に関する注意)

- ・本剤投与後、注射部位が錆色に変色することがあるので、食用として出荷の直前には投与しないこと。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・本剤の外観又は内容物に異常が認められた場合は使用しないこと。
- ・本剤は他の薬剤と混合して使用しないこと。
- ・本剤はアルコールにより沈殿を生じる。注射器具をアルコール消毒した場合は、よく乾かしてから使用すること。
- ・使用前に本剤のゴム栓を取らないこと。
- ・開封後は速やかに使用すること。
- ・本剤は有効期間を設定してある動物用医薬品なので使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。
- ・プラスチックボトルは、液漏れの原因になるので鋭利なもの等で傷つけないこと。
- ・プラスチックボトルに注射針を刺すときは、ゴム栓の刻印部にまっすぐに刺通すこと。斜めに刺すと、側壁を刺通し液漏れの原因になることがあるので注意すること。

- ・注射器具は滅菌されたものを使用すること。
 - ・注射針は必ず1頭ごとに取りかえること。
 - ・小児の手の届かないところに保管すること。
 - ・本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。
 - ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
 - ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
 - ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分量の許可を有した業者に委託すること。
2. 使用に際して気を付けること
(使用者に対する注意)
- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。
 - ・本剤が誤って眼、鼻、口等に入ったときは、直ちに水で洗浄やうがい等を行い医師の診察を受けること。
 - ・使用した後あるいは皮膚に付着したときは石けん等でよく洗うこと。
- (対象動物に関する注意)
- ・本剤は必ず筋肉内に使用し、注射時に注射針が血管あるいは臓器内に入っていないことを確認してから投与すること。
 - ・1回の投与量が多い場合は注射部位を変えること。
 - ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
 - ・まれに注射部位の腫脹・硬結が報告されている。
 - ・豚で、鉄剤を生後3カ月以降に投与した場合、注射部位に変色が見られたとの文献情報がある。

(専門的事項)

① 副作用

- ・子豚により、鉄アナフィラキシーによりショック・痙攣・死亡する場合がありますとの報告がある。
- ・本剤の注射後、全身的なアナフィラキシー症状を起こすことがあるので、このような症状が現れた場合には、注射を中止するなどして慎重に観察し、その後の注射の可否について検討すること。

【包装】

100 mL × 5本 (プラスチックボトル)

【製品情報お問い合わせ先】

フジタ製薬株式会社
〒193-0942 東京都八王子市櫛田町1211
電話 (042) 661-5528 (代)

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

製造販売元



フジタ製薬株式会社

東京都品川区上大崎2丁目13番2号
<http://www.fujita-pharm.co.jp>

FUJITA PHARM